

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)
(総合芸術コース 音楽文化専攻)

項目	グループ学習	対象学年	3年	場所	カレッジホール
テーマ	合唱演習(1)～(17) & リハーサル				
講師	神戸大学 名誉教授 斉田好男				
<p>講義内容</p> <p>卒業発表に向けて年間を通して、「合唱」「パーカッションアンサンブル」「和太鼓合奏」の3つのジャンルに分かれてグループ学習を行う。</p> <p>「合唱演習」ではクラス全員による合唱を中心とした演習を行う。 年度ごと3曲ほどの発表曲を決定し、譜読みから発表に至るまで仕上げる。</p> <p>最後の「リハーサル」ではホールにおいて「和太鼓合奏」「パーカッションアンサンブル」「合唱」の順にステージリハーサルを行い、本番に備える。</p>					
<p>講師からのメッセージ</p> <p>合唱・合奏ともに個々のレベルアップと共にチームワークが必要となりますが、音楽文化専攻のそのパフォーマンスは、例年、素晴らしいまとまりをみせています。</p>					

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)
(総合芸術コース 音楽文化専攻)

項目	和太鼓	対象学年	3年	場所	カレッジホール
テーマ	和太鼓演奏				
講師	和太鼓松村組 松村公彦				
<p>講義内容</p> <p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦基礎練習、構え方やバチの握り、腕の振り方などを確認の上、全身を使ったバチの振り下ろし方を身体に覚えさせる。 ◦リズムが重なり複合化されたものの手順と表現力を身につける。 <p>中期</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦楽曲(終了演奏会で発表する曲)に取り組む。 譜読み、リズム・手順の確認 各パート分け(宮太鼓・桶胴太鼓・平胴太鼓・締太鼓・鈴等)。 楽器毎に奏法やバチの種類も異なり、より専門的な内容へ 曲構成、完了、暗譜 <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦班分けし、各班毎で作曲したものを楽曲の中に組み入れる。 合奏する中で個人がどういった役割を担っているかを理解し、音量・音質を研究する。 また、その上で全体としてどのような音を出すかを考える。 修得した技術により如何に表現するか・・・を研究し、学年の特徴を出す。 					
講師からのメッセージ					
<p>和太鼓演奏は、身体全体を使うので、血の巡りも良くなり健康にも良いとされる。 また全員で音作りをする必要があることから常に相談を行い、そこから仲間意識が強まり楽しく仲良く取り組んでいる。</p>					

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)
(総合芸術コース 音楽文化専攻)

項目	音楽	対象学年	3	場所	学習室3・4
テーマ	諸民族の音楽、ジャズと神戸				
講師	神戸大学 名誉教授 岩井 正浩				
講義内容					
1限	諸民族の音楽①=朝鮮				
2限	諸民族の音楽②=中国				
3限	諸民族の音楽③=インドネシア・インド				
4限	諸民族の音楽④=アラブ・ペルシャ・アフリカ				
5限	諸民族の音楽⑤=東ヨーロッパ				
6限	諸民族の音楽⑥=ジャズと神戸				
講師からのメッセージ					
日本を含め諸民族の音楽は、音律がピアノの平均律とは異なるので、音楽の価値を相対的に感じる感性を期待します。ジャズに関しては、ジャズ発祥といわれる神戸のジャズ文化をライヴハウスなどで是非体験してください。					

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)
(総合芸術コース 音楽文化専攻)

項 目		対象学年	3年	場 所	カレッジホール
テーマ	グループ学習 パーカッションアンサンブル				
講 師	打楽器奏者 山中 佑起子				
<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合奏(ホール練習) 卒業発表をふまえ、全体のバランスを再調整・最終決定(マレット・立ち位置・入退場 含む) ・合奏(ホール練習) 発表に向けて安定した演奏と表現力の向上を目指した総合演習 ・合奏(ホール練習) 発表に向けて全体の流れを再度徹底 ・合奏(ホール練習) 発表に向けて総合演習 <p>〈学習のねらい〉</p> <p>演奏全体の構成や雰囲気を感じ合奏する喜びを深める</p>					
<p>講師からのメッセージ</p> <p>録画をし、全体の流れを見つめ直し、更なる向上を目指していきます。 発表に向けてより創作の意欲が増すことと思います。</p>					